

今回は、本人にとつて暮らしの場の移行がどのように経験されているのかを考えていきたいと思います。

## 本人にとつての暮らしの場の移行のイメージ

最初に、本人が暮らしの場の移行のタイミングをどのように考えているのか、ゆたか福祉会で行つた調査から考えたいと思います。家族があとどれくらい同居できると考えているのかといふと、本人がいつ家族と離れて自立したいと思っているかを重ねあわせてみたところ、「すでに難しい」場合は本人も「あと1~2年くらい」の場合は、本人も「あと1~2年以内に自立したい」というように親の限界と本人の自立の希望（あるいは本人が感じる家族同居の限界）は一致していることがわかりました。一方で、家族と離れるイメージがない人も多く、「家族と離れて暮らしたいから」や、「今住んでいるところに知り合ったたくさんいる」「これまでの生活がないから」という回答が寄せられました。「一人暮らし・友人との同居」と回答した人は、「24時間あれこれ言われたくない」や「自由に生活がしたいから」と、「夫婦で」と回答した人は「好きな人と結婚して生活がしたい」と、「グループホーム」と回答した人は、「ホームが良い」や「妹の負担になりたくない」「親はいずれ施設に入るので」ということでした。「入所施設」と回答した人は、「友だちがいっぱいいるし、生活全般見てくれるので、そういうところの方が安心できる」や「今、ショートステイで使つてている施設に友だちがいるから」ということでした。

このことから、障害者本人は、暮らしの場の移行を考える際に、これまでの生活の継続性や友人などの関係性を大事にしたいと考えていることがわかりました。

## 暮らしの場の移行後の家族との関係

次に、実際に暮らしの場を移行させた後、家族との関係について考えていく

## 第7回 家族から社会へケアの移行を考える④ —障害当事者の視点から—

田中智子  
佛教大学

老いる権利の確立をめざして

# 高齢期を迎えた 障害者と家族



たなか ともこ／専門は障害者のいる家族に生じる生活問題、障害者福祉援助の専門性。著書に『知的障害者家族の貧困一家族に依存するケア』(法律文化社)、編著に『いっしょにね!! -障かいのある子もない子も大人たちも輝くために』(クリエイツかもがわ)など。

挙げられていました。

また、「グループホームに入り、会う施設で暮らしている人の面会の頻度とそれについての意見をみてみると、帰省や面会で毎週家族と会っている人は多くが「ちょうど良い」と考えていて、月に1、2回になると「もっと会いたい」と思っているけど、さらに間隔があいて年に数回になると「ちょうど良い」と考えている人が多いことがわかりました。これは時間の経過と比例していると思われ、移行後間もない人たちには、週末の余暇はこれまで通り家族と過ごしており、その間隔があくようになると寂しさを感じ、その後、グループホームや入所施設の生活が安定し、親子それぞれの生活リズムができてくるなかで、たまに様子を確認しあう距離感がちょうどよいと感じられるようになるかもしれません。

実際に、親の高齢化に伴う問題に向き合い、暮らしの移行を経験した障害当事者から話を聞くことができました。

京都の北部、よさのうみ福祉会のグループホームで生活するえみ子さん(仮名)は数年前に母親を取り、その後しばらくはきょうだいと暮らしっていましたが、今はグループホームで暮らしています。母は、亡くなる前、10年以上、認知症の症状が出て、歩くのも不安定で食事やトイレ、お風呂など生活のあらゆる場

面で見守りが必要でした。えみ子さんは、毎晩母のとなりで寝て、トイレや見守りなどいろんな介助を担当しました。母の症状が進行するのを見るのはつらかったですが、最後まで自分の名前を呼んで

たいと思います。グループホームや入所施設で暮らしている人の面会の頻度とそれについての意見をみてみると、帰省や面会で毎週家族と会っている人は多くが「ちょうど良い」と考えていて、月に1、2回になると「もっと会いたい」と思っているけど、さらに間隔があいて年に数回になると「ちょうど良い」と考えている人が多いことがわかりました。これは時間の経過と比例していると思われ、移行後間もない人たちには、週末の余暇はこれまで通り家族と過ごしており、その間隔があくようになると寂しさを感じ、その後、グループホームや入所施設の生活が安定し、親子それぞれの生活リズムができてくるなかで、たまに様子を確認しあう距離感がちょうどよいと感じられるようになるかもしれません。

## 高齢化する親の介護・看取りと自分の生活

移行後の家族との関係については、「良くなつた」と回答した人が相対的に多く、「久しぶりに会うとよく話す。一緒に住んでいるときはあまり話さなかつた」「妹にとつても(自分が)ホームに入れたことで安心になつたと思う」という声が寄せられ、「悪くなつた」という意見は少数でしたが、「きょうだいが結婚してから冷たくなつた」ということが